

## 2020年度 NPO 法人 SalamatA 会員継続及び会員申込のお願い

五月の風が吹きそよいでいますが、日本もフィリピンもコロナウイルスの感染防止で日々の生活の制限があり常でない生活が続いていますが、皆様はいかがお過ごしですか。

NPO 法人 SalamatA も昨年度発足し、いよいよ本格的な活動を実施しようとした矢先のことで戸惑いを隠せません。フィリピンの情勢も厳しく、手塚理事と井上理事で ShorelineKKI を訪問してタール火山義援金（コロナ避難などでも使用を了承）を届けに行った日（3月14日）にロックダウンのニュースが流れ急遽帰国、3月15日からマニラ首都圏やセブなど含めてロックダウン（都市封鎖=日本より厳しく外出禁止）を実施されマニラ首都圏やセブではまだ継続されています。（ステイホームで学校も休止中）

一般の自粛要請により日本大学もキャンパスを封鎖、8月までは遠隔事業の方針で臨む方針が示され、サークル活動の中はもとよりキャンパスなどでの活動の再開が見通せない状況にあります。学生国際ボランティア SalamatA も通常活動（幡ヶ谷の八百屋さん）や代官山春花祭、その他のイベントが中止となり奨学資金の獲得が望めない状況が生じています。また、なによりも新学年の活動が行えていませんので、新規部員の勧誘などもできていません。

そのため学生 SalamatA の活動に依存している奨学資金等フィリピン支援について、NPO 法人 SalamatA として、2020年度奨学資金や文具等支援資金の確保への支援の実施について検討していますが、当面は具体的な活動が望めません。NPO 法人 SalamatA としてフィリピン子ども若者教育支援の柱となる奨学資金（現在四十数名の大学生支援中）を絶やすわけにはいきませんので、いまできることとして会員の継続・獲得、賛助会員の獲得が出来ることとして広くお願いをしていくことにしました。9月までに奨学資金一万ドル（ミニマム）の確保が目標となります。（昨年度寄付額一万六千ドル）事業計画の柱となる奨学資金の原資は会費となりますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。

### 会員について（継続会員の方は会費納入で資格が更新されます）

- 会員種別
- 正会員**（年会費 12000 円） 本会の趣旨に賛同し、守秘義務等に署名に応じる者
  - 学生会員**（年会費 6000 円及び学籍を有する者） 学生である者（正会員と同様）
  - 賛助会員**（一口 3000 円以上） 本会の趣旨に賛同する個人
  - 法人会員**（一口 50000 円以上） 本会の趣旨に賛同する法人

\*正会員・学生会員は、本会の社員（総会での議決権を有する）となります \*6月総会の参加資格は5月末日までに会費納入がされた方になります（正会員・学生会員）

**会費納入先** 銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一八（ゼロイチハチ）店番：018 普通預金 9976221

口座名：トクヒ）サラマットエー ※振込手数料は、ご自身でご負担いただきますようお願い申し上げます。

会員申込書（別紙）は下記まで送ってください。（継続会員の方は会費納入だけです）

送付先 Email [j.inoue@salamatA.com](mailto:j.inoue@salamatA.com) ホームページ <https://salamatA.com/>

郵送の場合は 〒358-0055 埼玉県入間市新光 306-182 井上 仁（NPO 法人 SalamatA 理事）

日本もフィリピンもステイホームですが、皆さまのご健康とご活躍を祈念しております。またお目にかかれる日を楽しみにしております。

NPO 法人 SalamatA 一同

特定非営利活動法人 SalamatA 入会（会員）申込書 申し込み年月日 2020 年 月 日

非営利活動法人 SalamatA の活動趣旨及び別紙の守秘に関する事項並びに定款の規定に関することについて了解をして下記の通り会費を添えて申し込みをします。

\*\* ご記入いただいた情報は NPO 法人社員等名簿にて管理し外部に提供されることはありません。

申し込み会員種別（該当会員種別に○） 正会員 学生会員 賛助会員 法人会員

会員種別 正会員（年会費 12000 円） 本会の趣旨に賛同し、守秘義務等に署名に応じる者

学生会員（年会費 6000 円及び学籍を有する者） 学生である者（正会員と同様）

賛助会員（一口 3000 円以上） 本会の趣旨に賛同する個人

法人会員（一口 50000 円以上） 本会の趣旨に賛同する法人

\* 正会員・学生会員は、本会の社員（総会での議決権を有する）となります

会員申込者氏名（署名） \_\_\_\_\_ 署名をもって申し込みされた会員登録への応諾とします

\* 法人の場合は法人名および申込者署名

会員登録 \* 記入は任意ですが活動の為に出来る限りのご協力をお願いいたします。

\* 学生会員及び卒業生

日本大学文理学部 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年 卒業生は卒業年度 20 \_\_\_\_\_ 年 3 月卒業

連絡先住所 〒 \_\_\_\_\_ 都道府県 \_\_\_\_\_ 市・区 \_\_\_\_\_

Email \_\_\_\_\_ @

Line SalamatAOGOB 登録 済 承諾 否

会員申込にあたり下記事項について応諾する場合は番号に○をお付けください。3～5については、応諾された方のみ会員資格を有することになります。

- 1、NPO 法人 SalamatA からのメール/Line 等の受信について了解します。
- 2、NPO 法人 SalamatA の活動等に関する広報に氏名の掲載（写真を含む）を承諾する。
- 3、NPO 法人 SalamatA の支援する学生や児童に関する情報を外部に漏洩しない。
- 4、NPO 法人 SalamatA の活動に参加する会員の情報を NPO 法人 SalamatA の同意を得ないで外部に漏洩しない。
- 5、NPO 法人 SalamatA の定款・規約等に従う。\*定款等必要な方はお申し付けください。

会費振込先 銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一八（ゼロ イチ ハチ）店番：018 普通預金 9976221

口座名：トクヒ）サラマツトエー ※振込手数料は、ご自身でご負担いただきますようお願い申し上げます。

## NPO法人 SalamatA 活動趣意 2019年

急速なグローバル化により国際的にも人、物、金の移動が加速し、流れから取り残された人々は貧困に追いやられ格差の拡大が顕在化してきています。貧困が教育を受ける権利を阻害し、その結果次世代へ貧困が連鎖していきます。

SalamatA は、2005年にチャイルドスポンサーとして、フィリピン子ども支援活動を学生たちが主体的に始め、2006年からはフィリピン・カビテ州の Shoreline (SKKI) を訪問して交流をしてきました。フィリピンでの交流などを通じて、我々はこの「貧困の連鎖」を食い止めるものは「教育」と「人材育成」であると強く感じるようになり、子どもの権利基盤の強化のために継続的な支援をすることや学ぶことに保護者も意欲的になれるような地域コミュニティへのサポートの必要性を感じてきました。

教育支援活動では、2006年より小規模ながらもフィリピン子ども支援として奨学金支援に取り組んできました。日本の多くの人々の協力と理解を得て、現在は、大学に進学する訳四十数名もの奨学生を支援するまでになりました。この奨学金制度からの卒業生も輩出し、彼らの多くが教育者（教員等）になるなどし、地域の人材育成の一翼を担う活躍をするようになりました。

その一方で、この地域への国際 NGO の経済的支援活動が終了（2010年）して、幼時期から小学校・中学校・高校等への進学の奨学金が途絶えました。国際 NGO に代わる SalamatA などの継続的支援活動や現地支援団体の経済活動などの収益から、現在では修学祝い金が支給され学びへの激励が行われていますが、高等教育への導きを見出すまでにいたってはいません。あわせて国際 NGO の設備支援施設などの老朽化などの新たな問題も露呈してきました。SalamatA は、継続的な支援を旗印に、教育や生活環境、人材育成などへの貢献を目指してきましたが、何年課題や支援規模が大きくなり、責任と組織改革が必要となりました。

この地域への支援を続けるためにより多くの方にサポートしてもらい、活動の規模の拡大を図り継続的な交流や支援を行うために、日本とフィリピンを繋ぎ、両者の発展となる事業（フィリピン大学生への奨学金基金設立・教育を中心とした人材育成や経済活動の活性化のためのサポート、日本における学生主体の活動のサポート、経済支援のための事業等）の展開を図りたく、特定非営利活動法人 SalamatA を設立して国際支援事業を展開していきます。

### NPO 法人 SalamatA 活動の様子

2020年3月 NPO 法人 SalamatA タール火山避難子ども支援金 6万円提供

3月14日 理事 手塚・井上がフィリピン・カビテ州 ShorelineKKI に届ける

2020年3月 フィリピン全土 コロナウイルス感染防止のためにロックダウン（都市封鎖）

上記支援金の使途拡大に打診があり理事会で検討し了解しタール火山及びコロナウイルス避難等に活用をしていただけることになる

2020年3月 日本コロナウイルス感染防止（自粛）が始まり学生 SalamatA 活動休止（キャンパス）

代官山春花祭 中止・幡ヶ谷活動中止（学生のサークル活動停止）

NPO 法人 SalamatA 理事会 代官山・春花祭の計画検討するもその後中止決まる

5月 NPO 法人 SalamatA として、会員継続及び獲得の活動

大学のリモート講義始まる（8月まで実施予定）キャンパスへの入校は6月以降順次（未定）

6月 NPO 法人 SalamatA 総会開催予定（今般状況で正面評決・委任状で実施検討中）

\*8月フィリピンスタディーツアー（NPO 法人 SalamatA 主催）は、6月以降の状況を見て判断。

奨学金を届けに理事派遣（現地訪問のみで交流は中止）も視野に検討中。